

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度		開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		国際教養学科	
科目名称	グローバル・プロジェクトⅠ							授業形態	演習	
科目コード	590124	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	横堀 仁志								ICT活用	○
授業概要	本授業は問題解決型の授業である。あるテーマ（問題・課題）に関して、チームごとにディスカッションやリサーチを行い、解決策（提案）を考案する。それを日本語原稿にまとめてプレゼンテーションする。まとめた日本語原稿を英語で表現し、英語発表原稿を提出する。									
関連する科目	1年次に「グローバル・スタディーズ」を履修しておくことが望ましい。履修後は本授業と同様に必修科目である「グローバル・プロジェクトⅡ」を履修すること。									
授業の方法と進め方	チームごとにテーマ（問題・課題）を設定し、それについてディスカッションやリサーチを行い、解決策（提案）を考案する。それを日本語原稿にまとめ、それを最終的に英語で表現する。学生主体のアクティブラーニング型授業である。日本語原稿の内容をプレゼンテーションする際は、パワーポイントなどのスライド資料を使用する。									
第1回	第1回：オリエンテーション 授業の進め方を説明し、テーマ（問題・課題）を決めるためのブレン・ストーミングを行う。									
第2回	第2回：テーマの設定（１） 第1回授業で行なったブレンストーミングの結果を基にテーマを設定する。									
第3回	第3回：テーマの設定（２） 第2回の授業で設定したテーマについてリサーチを行い、テーマとして成り立つかどうかを検討する。									
第4回	第4回：テーマの決定 第3回の授業でテーマについてリサーチした結果、テーマが成り立つことが確認できた場合、テーマを最終決定し、リサーチを開始する。 テーマが成り立たないと判断された場合は、再度、テーマの設定作業を行う。									
第5回	第5回：テーマについてのリサーチ（１） インターネットや図書館を利用し、テーマについてのリサーチを行う。特に、テーマに関する事実関係について調査する。									
第6回	第6回：テーマについてのリサーチ（２） インターネットや図書館を利用し、テーマについてのリサーチを行う。特に、テーマの解決策について調査・検討する。									
第7回	第7回：リサーチ結果のまとめ（日本語原稿の作成）（１） 第6回までの結果を日本語原稿にまとめる。チームメンバーで分担して原稿を作成する。									
第8回	第8回：リサーチ結果のまとめ（日本語原稿の作成）（２） 第6回までの結果を日本語原稿にまとめる。分担して作成した原稿をひとつにまとめ、全体的な調整を行う。									
第9回	第9回：リサーチ結果の発表の準備 チームごとに、第8回までにまとめた日本語原稿を基に発表の準備を行う。									
第10回	第10回：リサーチ結果の発表 日本語原稿の内容を5分程度でプレゼンテーションする。 オーディエンス学生および教員は発表内容についてコメントし、発表チームが内容を改善する上でのヒントにしてもらう。									
第11回	第11回：英語発表原稿の作成（１） 第10回までに作成した日本語原稿をChatGPTを利用して英文に翻訳する。翻訳作業は学生間で分担して行う。最終的に7分前後の発表（WORDのデフォルト設定で１ページ半から２ページ）になるように英語発表原稿を作成する。ChatGPTを利用して日本語原稿を英文に翻訳する際は、次の作業を行う。①日本語原稿を見直しし、主語を補うなど、英文にし易い日本語に調整する。②ChatGPTが生成した英文を見直し、日本語原稿の内容と一致しているかを確認する。③ChatGPTが生成した英文に難しすぎる語彙や表現がないかを検討し、必要に応じて学生の「身の丈」に合った語彙・表現に置き換える。									
第12回	第12回：英語発表原稿の作成（２） 英語発表原稿の作成を継続する。必要に応じて指導者のアドバイスを受ける。									
第13回	第13回：英語発表原稿の作成（３） 分担して作成した英語発表原稿をひとつにまとめ、全体的な調整を行う。									
第14回	第14回：英語発表原稿の作成（４） まとめた英語発表原稿を指導者が確認する。主に、プレゼンテーションとしての展開、論理性などをチェックする。									

第15回	第15回：日本語及び英語発表原稿の提出 日本語原稿及び英語発表原稿を完成させ、データで提出する。
授業の達成目標	①チームで行うプレゼンテーションの内容を日本語及び英語発表原稿としてまとめることができる。【汎用的技能】 ②自分の考えをまとめ、それを英語で表現できるようになる。【汎用的技能】
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／2.自分の言葉で表現できる能力を有する。／6.地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	テーマに関するリサーチ、日本語及び英語発表原稿の作成は基本的に授業時間外にチームごとに自主的に進める。授業は主に質問や問題解決などの場とし、ペースメーカーの役割であることを理解すること（毎週2時間程度の学修を想定）
授業時間外学【復習】	テーマに関するリサーチ、日本語及び英語発表原稿の作成は基本的に授業時間外にチームごとに自主的に進める。授業は主に質問や問題解決などの場とし、ペースメーカーの役割であることを理解すること（毎週2時間程度の学修を想定）
課題に対するフィードバック	①日本語によるプレゼンテーションについてコメント及びアドバイス等のフィードバックを与える。 ②日本語及び英語発表原稿についてチェックし、コメント及びアドバイス等のフィードバックを与える。
評価方法・基準	原稿提出（70%） （日本語原稿及び英語発表原稿） 日本語プレゼンテーション（30%）
テキスト	なし
参考書	なし
備考	